

## 令和7年度 第2回まちづくりミーティング

令和7年7月28日（月）18時30分～

元町福祉健康センター2階 もとまちホール

馬場、浅野町、森山、小坂、千坂、

夕日寺校下（地区）

### (1) 市長あいさつ

【村山市長】

皆さん、こんばんは。平日の夜、お疲れのところ、まちづくりミーティングにお集まりいただきまして、ありがとうございました。

このまちづくりミーティングですけれども、私が市長に就任した令和4年度には、都市像の考え方について説明をさせていただくという形で行ってまいりました。この地域でこの形式でまちづくりミーティングを行うのは6年ぶりということになります。

まちづくりミーティングは地域の方々の抱える課題、そしてそれに対する改善策なども提案をいただきながら、どのようなことができるかを共に考えていくということが大きな趣旨であります。課題を共有していくこと、そして課題解決に一步步進んでいくことが大事だと考えております。本日はよろしく申し上げます。

### (2) 地域代表あいさつ

【夕日寺校下町会連合会長】

私たちは様々な課題や、変化の中で日常の生活を過ごしております。高齢化が進む中、その支援をどうするか、また障害者の支援をどうしていくか、子育ての支援をどうするか、さらには、先だつての地震のこともございますけれども、災害、防災に対してどういうふうに関心を持っていくのか、また、地域の中で様々な活動の担い手、あるいは産業面で担い手不足といった課題もございます。我々の中ですぐに解決できる問題、課題ばかりではございませんので、日頃から話し合いをしながら少しでも前に進めていこうという、そういう気持ちが必要であるというふうに思っております。

そんな中、本日のように、このような市の幹部の皆様と直接意見を交わす、こういった場をいただくというのは大変貴重な機会であり、そして、私たちの日頃の思いを直接交換

することができる場という意味でも意義深いというふうに感じております。

金沢市の行政は、これまでも伝統と文化を大切にしながら、その中でも常に先を見ながら、新しい市政に果敢に取り組んでいく、変化をいとわず取組を進めていく、そんなまちづくりをされておると私は感じております。私たち住民もその一員として、しっかりとまちづくり、そしてさらによい地域づくりに取り組んでまいりたいというふうに思っております。

今日は、地域の中で様々な角度から、様々な課題をご提案、そして要望をさせていただくこととなりますが、どうか全ての課題に前向きに取り組んでいただいて、それこそ変化をいとわずに課題を共に乗り越えていきたいというふうに思っております。本日のこの機会が、地域と行政がそのつながりを強くする、そんな場であることを、そしてさらにまちづくりが発展していくよう、心からご期待、ご祈念申し上げまして、また、強く要望も申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。

### (3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、協議

#### ①「向こう三軒両隣」の思いを大切に、安心・安全で楽しいまちづくりについて

##### (馬場地区)

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

#### 【馬場地区町会連合会】

「向こう三軒両隣」の思いとは、馬場地区におきまして、これまで培ってきた地域の連携の強みの言葉でございます。

皆さん方ご承知のとおり、昨年3月に馬場小学校が153年の歴史を閉じました。現在は明成小学校に児童が通っているところですが、当初、閉校になったことはそれほど影響を及ぼさないであろうという思いも持ちながらいたわけでございますけど、残念ながら、住民の中にやはり馬場小学校への強い思いが未だに生き続けていると実感しています。それと馬場地区の特性といたしまして、国道を挟んで、ひがし茶屋街側の山側の地域と、旧小学校がありましていわゆる馬場地区で、非常に趣の違った地域があるところですよ。

そういった中で、地域として、住民の方々をどうやって一体化しながら、今後馬場地区を守っていければよろしいかと考えていたところ、今日このような発言の場所をいただい

たということです。そのまとめとして「向こう三軒両隣」という、これは馬場地区におきまして連綿と生きている地域コミュニティにおける強い言葉で挙げさせていただきまして、その中で「安心・安全」に加え「楽しいまちづくり」というものを今回つけさせていただき、地域がより楽しくあってほしいという思いもあり、あげさせていただきました。

そこで、地域の課題と申しますと、まずは高齢化、これは金沢市の市街地の中でも大変高い数値でございます。65歳以上の高齢者が46%以上、今は47%に近づきつつあると。もっと問題なのは少子化、14歳までの人口が6%しかいない。これは市の平均の2分の1ということで、非常に問題視されるところです。こういうふうな地域状況を踏まえながら、この馬場地区というものを守り続けながら、より発展させていくことで我々は力をこの後結集していきたいという思いをいたしております。また、馬場地区の特性から申しまして、非常にまとまりのある地域でございますので、各種団体、例えば公民館、それから地区社協、それから少連等々、いろいろな地域の団体の方々が心優しく、皆さん方が意見交換をしながら「どうするんべ」みたいな感じで話し合い、会議を持たなくても話し合いながらこの地域を進めていくという非常にいい部分がございます。

もう少し具体的なことで皆さん方お思いになるかもしれませんが、極端に挙げれば、旧馬場小学校の跡地、あの一帯の再開発をどうするんだということ、今回のテーマとしてはどれだけ先のことになるのか分からないものです。今日、この時期に馬場地区をどうやって守り続けながら、明るいまちづくりにつなげていくかということをいろいろと考えた中身として、今回この内容でまとめさせていただいたことをご理解いただきたいと思います。

#### 【南市民局長】

地域コミュニティを活性化していくという部分については、十分愛着をお持ちだと思うのですが、まずは市民の皆様が地域に愛着を持っていて、現役世代であったり、若者、市民団体などが地域活動や地域課題の解決にご参加いただくと、それが活動の持続可能性を高めていくということにつながりますので大切であると考えております。

そうするためには、まず昨今言われておりますのが、やはりご高齢の方が多くなりまして、一つにはデジタル化という部分がございます。そういったものを推進していくということも市としても取り組んでおりますし、それから、今非常に、連長さんのほうからも地域の団体の方々、連携が強いということもありましたけれども、そういった各種

の団体の方々、町会や公民館活動、福祉の団体、子ども会、婦人会など、そうした方々が連携していくということが大事だということを考えております。そうしたことによって市民の方が参加しやすい環境がつけられて地域コミュニティ活動の活性化につながっていくと考えております。

本市におきましては、校下内の地域団体の方々が連携するための事業であったり、防災情報を共有するための結ネット、これはもうお使いになっている町会の方もいらっしゃるかと思いますけれども、今年、その防災機能も強化したいと思っておりますし、各町会の方が連合町会のほうに町会長さんが加盟できるようなことも今年度取り組みたいと思っております。そうしたことの導入に対して補助をするということであったり、その活用事例を紹介するための説明会、ミニ講座なども行っております。こうしたことを導入していくことによって町会活動をある意味少し効率的にできるのではないかな、負担の軽減につながるのではないかなと思っております。

馬場校下をはじめとして各地域においては、町会活動、公民館活動、夏祭りや文化祭、防災活動など多くの行事をなさっていらっしゃると思います。そうしたものに多くの方が参加するということによって地域の絆が深まっていくということは、これは本当にここにおいでる皆さんも痛感なさっているんじゃないかと思っております。今後とも、皆様のご意見をお聞きしながら、市としてどんなサポートができるのかということも、できるだけ皆さんのお声に応える形で取り組んでいきたいと考えております。

#### 【村山市長】

昨年の3月、馬場小学校が閉校いたしました。閉校式に参加させていただきましたが、式典後の校舎開放にたくさんの方々が来られて、昔の思い出を皆さんで懐かしんだ、とてもいい学校だったんだなと思えました。縦割り学級をされて6年生が1年生の面倒を見る、そういった教育を進めていたこともそうです。ただ、どうしても児童数が少なくなってくる状況で、教育環境の面で明成小学校と一緒にしなければならないとなったところ、地域の方々に深くご理解をいただき閉校という形になりました。今後の活用については、今検討しているところではありますが、その内容がご提示できる段階になったらご相談させていただきたいと思っております。

そして、今日のテーマの中で「安心・安全で楽しいまちづくり」、これは大きなポイントだと思っております。馬場地区は本当にまちなかの、私から見ると住みやすい場所だ

と思っておりますし、魅力があふれる場所だと思っております。この地域によりたくさんの人に住んでもらうというためには、やはり「楽しい」というのが一つのキーワードになるかと思っております。

今日午前中に、空家等管理活用支援法人を指定させていただきました。地域の中でいろんなイベントをやっていくような拠点に空き家を使っていこうという支援法人の方もいて、地域の中で、歩いて行けるところに楽しいことがあるということ、それは公民館の力や町会の力とは別に、そういった方々が入ってくるということで一つの地域の魅力になり、さらに空き家を活用しようという人も入ってくるかもしれないとも思っています。

今、若い世代は戸建てを持ちたいという中で、建築コストを理由に難しい状況になってきているので、これから空き家あるいは中古物件が出回ってくる可能性もあるかなと思います。まちなかであればワンボックスカー等が入りにくいというところもあるかもしれませんが、考えようによっては、歩いて行けるところに大きなスーパーや生活に必要な機能の集約があるとなれば、それも一つの魅力だと思いますし、それに対してプラスの「楽しい」が加わっていく、これ町会活動でも大きなポイントになるかと思います。

## ②複合施設の整備及びその周辺環境の課題解決について（浅野町校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

### 【浅野町校下連合町会】

浅野町公民館は、2029年に法定耐用年数を迎えます。児童館は2035年が法定耐用年数になります。この2つの施設の底地は金沢市の企業局、緑と花の課が所管している事情があります。施設が離れていることや老朽化によって利便性の低下も激しいことから、複合施設の建設を検討しています。建設用地については、適地を確保できるように、最終の調整をしているところであり、そのめども一応立っています。

しかしながら、建設事業費の高騰、地元の負担増、加えて防災拠点機能等の付与や近隣への環境対策などが課題となっています。特に建設単価は、再整備の話が10年ぐらい前から出ていますが、この単価が下がる見通しは全くないような状況です。

この建設コストの高騰に対して、地域の負担を最小限に抑えたい。また、新たな施設に防災用具を備えることで、近隣校下との災害対策の連携も可能になると思っています。整

備においては、近隣への配慮と周辺施設の改修・機能強化が併せて必要となってくると考えており、市と調整を今後進めていきたいと思いますが、市の考え方を聞かせていただければと思っています。

【野口教育長】

今年度から、公民館、児童館などの新設の施設整備に係る地元負担金につきましては、その割合を4分の1から5分の1に引き下げるとともに、新たに施設の解体、そして長寿命化に係る経費につきましては、全額市が負担することとなりました。建設がこれから具体化した際には、建設事業費の物価高騰対策について、施設の規模、それから設備の内容や使用材料等の検討も含めてしっかりとご相談をさせていただきたいと思っております。何なりとご相談いただいたり、一緒に話し合いをしていければと思います。

地区公民館は六法全書を読んでも、社会教育施設としての機能のほかに、地域コミュニティの中心として地域の自主性とか連帯意識の向上に大きな役割を果たしております。あわせて、地区児童館においては、子育て支援を行う拠点施設ということで、地域における児童の健全育成に大きく寄与していると思っております。こうした両方の機能を持ち合わせます複合施設として、これまでも建設計画について幾度もご相談をお受けしていると認識しておりますけれども、今後、引き続き、近隣住民への配慮、周辺施設との関係性も含めまして、地域の方々のご意見も踏まえ必要な協力をさせていただきたいと思っております。

なお、防災用具の備蓄につきましては、災害時に地域の防災活動や避難生活の拠点となる小学校などのいわゆる拠点避難所での配備を基本にしております。ただ、公民館など、災害時に地域住民が一時的に避難をされて滞在されます指定避難場所におきましての備蓄につきましては、地域として必要なものがある場合は、自主防災組織防災資機材の整備補助を活用いただくなどしてご準備いただければと思います。

(追加質問)

【浅野町校下連合町会】

防災に関してですが、基本的には小学校が拠点避難場所、そしてその校下・地域の防災の核になると思いますが、昨年の能登半島地震を例に挙げるまでもなく、小学校だけでは十分に対応し切れないという実情があり、そんな中で、公民館や児童館がそれを補完する

機能をもっていくのかなと思っております。

単に災害時の備蓄品の整備だけでなく、もっと、例えば防火水槽であったり非常用の発電設備であったり、そういったものをこの機会に整備できればと思っているが、何分、公民館、児童館を建てるだけで精いっぱいな状況です。防災施設を加えると、さらに地元民の負担が増えてしまうことになりますので、ぜひ金沢市にも後押ししていただければ助かると思いますので、その辺のところをもう一度お聞かせください。

#### 【山下危機管理監】

今年5月に県の被害想定の見直しがありました。金沢市全体でいきますと避難者数は減少、これは耐震化が進んだことによるものです。しかし、地区ごとによって避難場所と避難される方のバランスというのは少しアンバランスがあり、今、この精査を一生懸命やっております。

金沢市の一つの考え方として、大規模災害であればあるほど拠点避難所というのが重要になってきます。避難所の数が増えていけば増えていくほど情報集約に時間がかかりますので、例えば浅野地区であれば、小学校の拠点避難所を中心に、その周りに指定避難場所を枝のように使いながらやっていくということになってくるだろうと思っています。

そういった中で、指定避難場所の中に公民館の指定もあり、建物の耐震化等にも支援をしています。ただ、避難所として自家発電を入れるかどうかというのは、今回のアドバイザー会議等でも避難所の在り方そのものを全体的に検証しておりますので、そこでの検証結果も待って、必要な資機材が出てくれば充実をしていきたい。まずは地区ごとの避難所の状況等をチェックしておりますので、いましばらくお時間をいただきたい。

備蓄の在り方については、まずは拠点避難所に皆さんまず来ていただく、入り切らないことも想定して指定避難場所でも一時避難するということを想定してますので、そこで必要なものがあれば、まずは金沢市が今備蓄をしております資機材でやっていただくことになるのではないかな。ただ、今ご提案のような防災機能としてのとなると大型の補助とかいろんなものが出てきますので、慎重に議論をさせていただく必要があると考えています。

いいお答えがすぐできないわけですが、今ちょうどその検討を避難所の在り方としてやっている最中だというご理解はいただきたいのと、できればその方向性については、来年の5月に地域防災計画の改定を予定しておりますので、いましばらくお時間をいただければと思います。

(追加質問2)

【浅野町校下連合町会】

周辺環境整備の件ですが、どこまでお考えになっているか分かりませんが、校下内に第3児童公園が意外と使いづらい公園なんです。一度行ってみられれば分かると思います。水のはけが悪い、遊具も子供というより小学生用で、それより以下の子供の遊具はないということで、こども園なんかは使いたいけれども使えない状況になっている。一番は水はけが悪いのと、素足で走れない、歩けない状況です。だから、もっと幅広く大きく、災害時の避難場所にもなると思うんですが、その辺を含めてご検討していただきたい。

【高木都市整備局長】

浅野本町の第3児童公園のことについてお話がありました。私どものほうで、今ご指摘いただいた幾つかの点を把握しております。

まず1つ目に、表面排水のお話がありました。雨が降った後二、三日、水が引かないということで、これは私どものほうでも確認をしております、対応について検討しているところでございます。市内に公園が約850か所ございまして、1か月に1回の割合で定期的に点検をさせていただいて、異常箇所があればその都度対応しているという状況でございます。

2つ目に、小学生の方あるいは保育園児、幼稚園児の方が使える遊具のお話もございました。遊具についても、先ほど申しました定期点検の中でいろいろ確認もさせていただいております、必要があれば修繕、更新をその都度実施しているところでございます。あらためて現地の確認をさせていただきます。

3つ目に、子供さんがはだしで遊べる芝生ということで、公園の中央部分には芝生がございすけれども、そこがちょっと剥げていたりということもあろうかと思えます。この対応についても公園全体の修繕の中で考えていきたいと思っております。

【村山市長】

公民館、児童館の長寿命化工事、解体工事については、全額市のほうで行うということこれも今回の金沢方式の負担率の見直しに関連して行ったところですので、ぜひご活用いただければと思います。



そして、地震の被害想定がこの5月に出了たけれども、昨年1月の能登半島地震の経験を得て、我々の地域防災計画も既に1回見直しをしております。今年の5月に見直しを行いました。その中で今できる対策を行ったわけですが、今後、地震被害想定について県による見直しがありますので、それを受けての対策ということで今から避難所の場所であるとか備蓄品の種類や数について来年の5月に向けて検討をしていきたいと思っております。

そして、避難の仕方についても、「まず拠点避難所に来てください」とさっき言っていましたけれども、「行かなくてもいい人は行かないでください」がまず最初にあります。難を避けられるところ、しっかりとした建物、耐震化した建物に住んでいるという場合には必ずしも避難所に行かなくてもいい。それはそれぞれの個人のお宅の事情で変わってくると思いますけれども、そのあたりも見直していくというのが、防災という中で一番大事なところかと思っております。

### ③卯辰山麓寺院群へのアクセス道路について（森山校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

#### 【森山校下町会連合会】

昨年の能登半島地震、うちの校下でも被害を受けました。山手の部分の団地が2か所、4軒家が倒れて引っ越しをせざるを得なかったということがありました。そのあたりも道が全部どこも狭いのです。入っていくことが難しいということもあって、そのあたりも含めてお願いしようと思っておりましたが、これは非常に話が大きくなります。そうでなしに、たまたま伝建地区の町並み協議会の際に、国道から入っていく道の角をお寺さんが買えそうだという話があった。できればそこを何とか道路にして拡幅を市のほうへ働きかけしてみてくれないかというお話がありまして、はっきりと決まったらお願いに行きますよという話で今ストップになっております。

もう一つ、平成7年に阪神・淡路ありました。東日本大震災もありました。火災が阪神・淡路は大きかったです。卯辰山伝建地区は、今まで何回か大きな火災にあっておりまして、消防の車両もなかなか入れないような道も多くあります。そのあたりも含めて、できれば何とかもう少し入り口を広げられないかと。今回、そのお寺さんの塀が倒れそこへ避難す

ることができなくなりました。避難所において私らに入ってくる情報は、常にこことこの塀が倒れましたと、あそこから避難できませんといった内容。じゃ、道はというと、それはみんな細いんです。しかも今、通学路にもなっているところもありましたので、その変更等行いましたけれども、そのあたりも含め安全に、大通りからある程度の広さで入れるような仕様をお願いできればなと思って提案いたします。

森山町小学校を3年前に建てていただいたんですが、実は当時先に、いわゆる太い道への通路を造ろうと市へお願いしたことがあります。何回かお願いしましたが、「お宅の学校はまだ十何年後ですから」ということで断られました。幸い早くにできましたので非常にありがたい、今回の震災でも学校は全く潰れるようなことはありませんでした。

できれば、やはり逃げ道も含め、防災を考えないといけないなと思っております。その点ご検討お願いいたします。

#### 【木谷土木局長】

本市では、幅員の狭い道路や隅切りのない交差点の整備に当たりまして、道路の特性を調査した上で、拡幅に必要な用地のご提供をいただきながら道路の拡幅に取り組んでおります。そのほか、金沢は非戦災都市でございます。防災まちづくりの一環として、地域の住民の方と市が協定を締結いたしまして、それぞれの役割を定めるとともに、道路の拡幅や防災広場の整備を進めており、当校下においても防災まちづくりの協定の締結の実績がございます。協定の締結に当たりましては、地震火災時における避難路の確保、消防活動の困難性及び延焼の危険性がある観点から、「特別消防対策区域」と呼んでおりますが、その地域を優先して協議し、狭隘な道路の拡幅などを行っております。

しかしながら、卯辰山のこの地区は、寺院群は伝建地区と呼ばれる伝統的建造物群保存地区に指定されているため、建築物と土塀、これの原状を変更する行為が規制の対象になっております。建築物の除却等については規制の対象になるものもございますので、どのような対応ができるのかというのを具体的な場所に応じて相談に乗っていきたいと思っております。

#### 【村山市長】

私は、全国の重伝建がある109自治体が加入している全国伝統的建造物群保存地区協議会の会長を務めております。

重伝建を指定するというこの制度ができて50年ですけれども、その最初に手を挙げようとした際に、開発ができなくなるということがあって見送った。ただ、見送っていった中で、山出保元市長がこの卯辰山麓であったり寺町であったりの寺院群、これは歴史的な流れから前田家の家臣の方々が多くその檀家でいるところも多い。ですので、曹洞宗であるとか日蓮宗であるとかそういったお寺が集まってきた。そして明治になってからその前田家の方々が東京に行ってしまったことによって寺が荒れてきた。その寺をこのままではいけないということで修復していくための制度として重伝建を入れたと思っています。

その一方で、重伝建は町並みの修景を変えてはいけないというところの大きなハードルがありますので、その中でどのようなことができるかということ、個別の相談をさせていただきたいというのが先ほどの回答でした。

各地域それぞれの個性を生かした発展をぜひ考えていきたいと思います。

#### ④小坂校下の防災対策とまちづくりについて（小坂校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

##### 【小坂校下町会連合会】

昨年の能登半島地震では、金沢市内も大きな被害に被ったと思っています。小坂校下についても大きな被害がたくさんございました。

小坂校下は、一般住宅地、いわゆる平野部と丘陵地帯がございます。神谷内、御所とか小坂にございます。その境界に森本・富樫断層というのが走っているのです。平野部の住宅地は、昔のレンコン田や水田を埋め立てたところが非常に多いわけです。そこに金腐川とか柳橋川という川が流れております。金腐川についてはいわゆる天井川というところも一部あり非常に危険なところです。こういった地形により崖崩れと水害にも関係のある非常に防災的にも難しい地域です。能登半島地震では神谷内の葵地域のところで敷地のずれがございまして、家屋の倒壊が数件ございました。また、平野部におきまして、いわゆる液状化ということで、道路の損壊、建物の損壊というのが多く見られました。

我々としまして、地震などの自然災害に対しては完全な解決策というのは難しいと思っておりますが、このような地域において安全で安心な暮らしをするために、こういったまちづくりを市として考えておられるのか、お伺いしたい。

### 【山下危機管理監】

小坂地区においては、昨日、防災研修会を開いていただいて、60名の方を超える中で、いろんな地域の事情を説明していただくなど、私どもにとってもいい機会であったと担当から聞いておりまして、できればかがやき発信講座などで開いていただいているような地区の防災のことをお伝えいただければ大変ありがたいと、いつも考えているところでございます。

能登半島地震が起こりまして、昨年度、金沢市では、例えば避難所がなかなか開かなかったとか、いろんな課題がありましたので、まずこの部分についてしっかりと検討をさせていただいております。

そういった中で、5月に石川県が新たな被害想定、もし森本・富樫で震度7クラスが起きたらどういった被害が起きるかといったものの発表がされたところでございます。この結果、端的に言いますと建物被害は6万棟に及ぶという数字、かなり大きな数字が出ていますが、耐震化によって建物の棟数被害は実は減少傾向でございます。また、死者も減っております。それでも関連死を含めると2,000人ぐらいになるのではないかとと言われておりますし、避難所への避難者数も減ってきてはいますが、14万人程度、最大でいるということを発表されておりますので、金沢市としてまずしっかりやるべきことは、この結果を捉えて、起き得る災害の被害に対して、早期の復旧ができるように準備を備える、災害に対してどう対応していくかというところをしっかりと計画を立てて、いざ災害が起きたときに対応できるようにしておく。これがまず大きな柱の1点目でございます。

もう一つ、減災対策、予防対策、これはやっぱりやっていかなければいけないと思っています。減災と予防については行政だけでは必ず限界が来ます。地域の皆さん、自助、共助、これとセットでしっかりやっていかないといけないと考えておりまして、こういったところを専門家も交えながら、今年一年で、方針をしっかり出して、皆様と一緒に進めていきたい。これが2つ目の大きな方針でございます。

その中で、避難所のことに関しては、地域によってかなり被害状況が異なります。先ほど森山、馬場とかでもお話あった、道路が狭いところは倒壊したときどうするんだとか、避難所の数が足りないんじゃないとか、こういったのは市全域でも考えますが、エリアエリアで少し丁寧に議論を進めていく必要があると思っています。まずは、各地域でつくっていただいております地区防災計画の見直しを一緒にやらせていただきたいと思います。

います。もう一つ、先ほど備蓄品のお話もございました。避難所にどういった備蓄品が要るか、特に地域の皆様をお願いしたいことというのが、大規模な災害であればあるほど、なかなか各避難所へ物資を持っていくことができなくなります。ですので、最初の1日でも結構です。食べ物とお水は持ってきていただけると大変ありがたい。私どももこれまで備蓄のお願い、避難用持ち袋のお願いをしていますが、ここはもっともっと強化をしていきたいと思っています。

また、防災において各地区で、先ほど高齢化のお話も少しございました。地域の担い手がなかなかいないということがございますので、今年から、大学生が金沢の場合はかなり多く来ております。彼らにしっかりと防災の知識を提供しながら、地域の共助の役割も担っていただけるような取組を始めておりますので、学生がおいでる地区においては、防災訓練などに呼んでいただいたら大変ありがたいと思っていますし、もう一つ、住民だけではなかなか難しいので、今年から企業防災士というのも育成をすることにいたしました。地区にある企業に防災士をまずつくっていただいて、企業の防災力の強化と併せて、その企業がある地区の防災士と連携して地区の防災に関わってほしいという制度もつくりましたので、そういった点もしっかりやっていきたいと思います。

最後になりますけれども、神谷内葵の件が出ております。金沢でも多くの地区で被害がありました、特に被害の大きかったところの一つでございます。取組自身は、土木部が中心になって今やっておりますが、昨年度、地盤調査をさせていただきまして大量の地下水があることが確認をされております。地下水をまず除去する方法によりまして地盤の安全対策を講じていきたいと考えております。来年度からその対策工事に着手することといたしております、そのための実施設計を一生懸命やっておりますので、一日も早く着工できるように頑張ってますので、いましばらくご協力をお願いできればと思っています。

#### 【村山市長】

防災に関する「かがやき発信講座」を危機管理課にて行っていますし、あと消防局からも興味深い話が聞けると思います。どのような対策をしなければいけないか、その中では、例えば輪島の火災がありましたけれども、その火災の原因の一つがブレーカーを落とさなかったこと、電気の漏電ということも言われたりもしています。感震ブレーカーって聞いたことありませんか、揺れを感じたらブレーカーが自動的に落ちるもの、そんな内容の

話も聞けるかと思しますので、危機管理課からの話だけでなく、いろいろ「かがやき発信講座」をご利用いただければと思います。

#### ⑤地域団体と公民館について（千坂校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

##### 【千坂校下町会連合会】

千坂校下につきましては、町会と公民館について少し話題としてみたいと思いました。

私自身、県、市、町会連合会と連携をして、楽しいまちづくり、安全なまちづくり、加えて、金沢市の全体のまちづくりを形成していくことが大切だと強く思っています。

そんな中、金沢市の各課から、例えば危機管理課から「こんな調査を」とか、福祉政策課から「これについて調べてほしい」と、依頼がきます。それに町会としては対応していく意気込みをもっているのですが、どうしてもその窓口が公民館になります。準備等にもどうしても人手が足りず、苦心している状況ですので、金沢市からいろんな作業の依頼を受ける際、追加の人件費の負担は難しく、その準備にどうしても人手が足りず、苦心している状況です。例えばそれに係る人件費を、市民協働課から公民館に流していただく、または、そういう意識向上のために覚書のようなものの発出はできないのか、考えてほしいなというのが1点です。

もう1点、公民館として、先ほど社協の施設という話が出ました。そういうようなことをつけるデスクとか、あるいは寄り合い場所をつくっていただけないかな、そういうものも含めて検討していただければな、そんな思いでおります。

また、事前にお伝えしてませんが、海側環状道路もできました。ちょうど今、福久でやっています。その辺の土地区画の整備につきましても少しアドバイスをいただければなどの思いです。よろしくお願いします。

##### 【南市民局長】

千坂校下さんについては、コミュニティ協議会を設けられていろんな各団体が連携を取っていくというようなことを先駆的にやってこられたということで聞き及んでおります。共通の課題解決をはじめて、住みよい地域社会の構築を図ってきたのではないかなという

ことを考えております。

そうした中で各団体が、地域運営に融和の下にご尽力をいただくということで、スペースのことがお話としてございました。スペースについては、当然地区の公民館であったり、各町会の会館ということもございます。まずは地域内に存在するというものをお互いに融通し合って、柔軟かつ効率的に使っていただくというのが理想的なのかなと考えております。

町会施設の整備につきましては、例えば会館の建て替えの際に複数町会による共有という考え方もあります。各地域団体が活用できるスペースを有するような一定規模の整備を検討するということございましたら、市としても相談に応じていきたいと思っております。

それから、地区の公民館のお話でございます。地域住民の教養の向上や健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する事業を行うという、社会教育法に基づく社会教育施設ということがまず大前提にはございますけれども、そうした地区公民館の運営に必要な職員としまして、館長や主事、主事補を配置しておりますので、まずは公民館職員の人件費等の運営費については、金沢方式に基づいてその一部を地元負担をいただいているということとなっております。

ただ、地区公民館というのは、社会教育施設としての機能のほか、地域コミュニティの中心として、地域の自主性や連帯意識の醸成に大きな役割も果たしております。地域の考え方はいろいろとあるということは承知しておりますけれども、地区公民館と町会連合会が相互に連携しながら地域活動に取り組んでいくということが、地域にとっては大事なことで思っておりますし、そういう部分で市民局であったり教育委員会のほうもお力添えをしていきたいと思っております。

#### 【高木都市整備局長】

地域において基盤整備が進んできた、それから海側幹線の整備も行われているということで、地域の状況がいろいろ変わってきているということは承知しております。

こういった基盤整備が進むにつれて、それに合わせてこの地域もやっぱりいろいろ変わっていかないといけないというところもあるかと思います。市のほうでは、地域のまちづくりの方針を示す都市計画マスタープランの改定に向けた動きを現在行っております。地域の皆さんともいろいろとお話を重ねながら、その計画に盛り込む内容についてもこ

れから詰めていこうと思っておりますので、その中でいろいろとご意見をいただければ、反映できるものはしていきたいと考えております。

【村山市長】

町会も公民館も、自分たちで自分たちの地域をつくってきたというこれまでの歴史があると思います。その中で金沢方式がこれまで使われてきたと認識をしていますけれども、ぜひ、これから先、未来に向けたよい地域づくりに協力をいただければと思います。

私も千坂地域内の、伝統的な行事にも伺うなど、とてもいい地域だなと思ってきました。ぜひこれからもご尽力よろしくお願いいたします。

⑥用途地域の変更について（夕日寺校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【夕日寺校下町会連合会】

我々夕日寺校下は都市部にすぐアクセスできて、そしてまた緑の環境もしっかり残っていて非常に環境のよい、住みよい地域だなと思っております。

そんな中で、その用途地域の件ですが、校下内の大部分が第一種低層住居専用地域と指定されています。この用途地域の指定により住宅地としての良好な環境はしっかりと守られております。一方で、地域の住民の生活の適合性、地域の将来にわたっては課題があるとも感じております。唯一、金沢市の校下の中でコンビニのない校下だと聞いていますが、そんな地域でございます。

そんな実情で、この県道沿いに何か商店なりを営業したい、あるいは地域の住民の方でも事業所、事業所を設置してそこで事業をしたいという方もおられるとこれまでも聞いております中で、この用途地域の指定が足かせになっているという状況です。

今後、高齢者の支援あるいは、地域の子育て環境の充実等々を考えていきますと、地域の中でそういった施設がなく、歩いて買物に行ける所がないというのは将来的に課題になってくるだろうと思いますし、これから子育てをしていこうという方々から、この地域が選択から漏れてしまうのが残念だと思っております。生活物資の購入ができる施設の不足というのは、日常の生活に大きな負担となると認識をしております。



里山の自然環境をしっかりと守りつつ、今後も住み続けられる、そんな地域の魅力を高めていくためにも、第一種中高層住居専用地域あるいは第一種住居専用地域のように、県道沿いにだけでも小規模な商業施設や事務所、飲食店の建設が可能となるような用途地域の変更を要望したいと思いますし、市の考えをお聞きかせください。

【高木都市整備局長】

市内におきましては、昭和45年に、いわゆる線引きといいまして都市計画区域の中を市街化区域と市街化調整区域に区分するというを行いました。その線引きを行って以降、今ほど中川会長からもご説明がございましたとおり、夕日寺校下につきましては、小学校や大学など学校施設の敷地と、第一種住居地域に指定された東長江町の一部の地域を除いて大方のエリアというのは、土地区画整理事業などによる宅地開発が行われまして、それに伴いまして、自然環境を保全しながら、低層の住宅を中心とした落ち着いたある住環境を維持する区域として、土地利用が図られてきたという経緯がございます。

一方で、地域内には一般県道清水小坂線が通っておりまして、その県道の機能を強化するというですとか、山側幹線のアクセスを向上させるということを目的としまして都市計画道路春日東長江線が昭和60年に都市計画決定されています。ただ、その都市計画道路の整備につきましては、いまだ石川県による事業化に至っていないという、そういう現状となっております。

そのため、ご要望をいただいております、県道沿いに小規模商業施設などの立地が可能となるように用途地域の変更を、ということにつきましては、将来の道路整備によりまして現在の県道の交通の流れが変化して、新たに施設を立地した場合にどのような影響を及ぼすのか、ですとか、あるいは新たな施設を立地すると道路整備そのものに影響が及ぶのではないかと、そういったことを考えて慎重に検討する必要があると思っております。市としまして、引き続き県の道路整備の進捗を確認していきますとともに、その状況に応じて地域の皆様のご意見も伺いながら、在り方というものを検討していきたいと現在考えているところでございます。

(追加質問)

【夕日寺校下町会連合会】

用途地域の変更は中長期的なものとして、その前に、特別地区など、例外的な活用とい

うのを含め、できないもののでしょうか。用途地区全体を見直しかけるのではなく、その用途地区の中でもこの地区はこれに活用できる、というような、制度の柔軟な活用はできませんでしょうか。検討をお願いします。

【高木都市整備局長】

会長からのご指摘は地区計画という考え方だと思うのですが、その制度はもともと用途地域で認められている用途の中で幾つかを制限するときに活用する制度であり、そこを緩和するというのはなかなか難しい制度でございます。

先ほど回答させていただきましたのは、面的に用途地域を変えるというときの考え方でございます。一方で、例えばコンビニが本当にできないのかということで、点的な考え方で少し説明を加えさせていただきます。

この地域は、第一種低層住居専用地域ということで店舗単独の立地というのはいろいろ制限をされ、住宅を兼ねる店舗については延べ床面積が50平米以下であれば可能ということになっております。そこだけが認められています。ただ、それは現実的ではないということで、平成28年に国から技術的助言というものが出まして、地域のニーズとか実情に応じて、住民の徒歩圏内に日常生活に必要な店舗が不足しているなど生活利便性に欠ける地域ですとか、あるいは、主要な生活道路沿いに立地して良好な住環境を害するおそれがない地域においてはコンビニエンスストアの立地を総合的に判断するようにと、そういう通知が出てきております。

夕日寺校下につきましては、平成27年から30年にかけて、実際にある開発事業者の方からコンビニエンスストアの立地ができないかという話がありまして、そのときも国からの助言のお話をさせていただきました。その後、その開発事業者はどんな理由があって分かりませんが、立地にまでは至らなかったという経緯がございます。

具体的に立地できる可能性ということで申しますと、騒音等周囲に対する配慮、夜間照明の確保、そして交通安全確保、そういったことの対策を講じた上で、一定の基準を満たすことが必要になり、周辺住民の方、それから地権者などの利害関係者の方の意見を聞いた上で、建築審査会という有識者で構成する会にて同意を得ることによって、制限されている面積を超える場合であっても認められるというケースがございます。コンビニについてはそういう国の特例的な通知が出ていますので、考えのある開発事業者の方がいらっしゃれば、相談に乗らせていただきたいと考えております。

【村山市長】

まず、点からやっていきましょう。その方向性で進めていけることがあれば、それが何かの突破口になるかもしれないということも考えられますので、まずできるところからやっていくということだと思います。よろしくお願いします。

(4) 共通課題について

城北地区に大型複合施設（図書館）の建設を

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【小坂校下町会連合会】

城北地区には城北市民運動公園があり、市民野球場とか金沢プール、サッカー場あるいはスポーツ交流広場とか屋内交流広場、また多目的芝生広場など、スポーツに関する施設がきちんと整備されております。

しかし、城北地区には文化施設がない。東部には県立図書館、あるいは西部には海みらい図書館、南部には泉野図書館がありますし、中心部には玉川図書館やこども図書館など整備されております。しかし城北地区には一切ございませんので、ぜひ図書館など文化的施設、複合施設でもいいです。ぜひ建設をお願いしたいと思っております。

【村角都市政策局長】

金沢市内には4つの拠点図書館と1つの分館、それからまた県立図書館があるという状況でございます。

加えて、人口減少社会が進展していきます。また、老朽化に伴う建物あるいは設備の大規模修繕、それから既存施設の再編など、公共施設の再整備というものが今後本格化してまいります。そうした中で新たな複合施設を建設するということについては慎重にならざるを得ないと思っております。

一方、現在、公共施設の建て替えに関するプロジェクトが市内でも幾つか進んできています。施設の再整備、それから再編に併せて、どのような新たな機能が必要かということについては、市の検討の状況に応じて地域の皆様からのご意見を頂戴しているところでご

ざいます。

本日こういったご意見・ご要望も具体的にいただきました。まずは皆さんの思いを共有をさせていただいて、今後そうした具体の事案に併せて、個別具体にどのようなことが考えられるのか、検討できるのかということについて意見交換をさせていただければと思っています。

#### 【村山市長】

城北児童館がありまして、そこでのその中に分館機能がありますけれども、そうした分館機能をどうしていけばいいのかということは、また別の検討であり得るかなと思っていますので、そうしたことも含めて検討できればと思います。

### (5) 質疑応答、意見交換

#### 【千坂校下町会連合会】

城北分館で問題なのは駐車ができないことです。すごく狭く、本を借り、返却の際に非常に不便な状況ですので、その点については、改修工事などで解消できるならいいのですがよろしくお願いします。

#### 【野口教育長】

お話はよく分かります。ただ、泉野図書館などについても駐車スペースが狭く、地下を活用したり、館の後ろの狭いスペースに駐車いただいたりしています。また、玉川図書館についても、地下も活用するなど様々に知恵を絞りながら、地域の方々のサービスに寄与するように一生懸命頑張っているところです。

城北児童館の駐車場についても大変狭いことは重々承知しておりますので、また何か改善できないか考えていきたいと思っております。

### (6) 市長まとめ

#### 【村山市長】

本日は本当に遅い時間までありがとうございました。

防災、公民館、まちづくり、土地利用についてまで、本当に幅広く議論ができたかなと思っております。また、なかなか難しい課題もたくさん出てきたというように思います。

課題を共有させていただきましたので、今回をまたスタートにして議論を深めていければと思っております。

本日は遅い時間までありがとうございました。